

2026年4月14日

各位

会社名 株式会社エスエルデー
 代表者名 代表取締役社長 有村 譲
 (コード: 3223 東証スタンダード)
 問合せ先 代表取締役社長 有村 譲
 (TEL. 03-6866-0245)

2026年2月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向を踏まえ、2025年4月14日に公表した「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の2026年2月期業績予想と本日公表の実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年2月期通期の業績予想値と実績値の差異(2025年3月1日~2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたりの 当期純利益
前回公表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2025年4月14日公表	3,822	212	212	206	111.85
今回修正(B)	3,656	126	131	87	35.50
増減額(B-A)	△ 166	△ 86	△ 81	△ 119	
増減率(%)	△ 4.4	△ 40.6	△ 38.3	△ 57.8	
(参考) 前期通期実績 (2025年2月期通期)	3,661	144	142	143	71.69

2. 業績修正の理由

売上高につきましては、前回公表時に予期していない店舗の退店が2店舗発生したため、となります。当該店舗の退店は施設再開発等に伴う戦略的解約であり不採算による撤退ではありませんが、退店に伴う売上高減少分を補填するべく、既存店での取り組みおよび新規出店といった対応を進めてまいりましたが、前回公開予想を下回る結果となりました。これを機に、既存店の更なる収益基盤の強化と外部環境の変化に左右されにくい安定的なリスク耐性の高いポートフォリオの再編を加速させてまいります。

原価につきましては、原材料価格の上昇が継続する中、メニュー改定等といった対応を進めてまいりましたが、原価率が前回公表予想を上回って推移いたしました。

また、人件費につきましては、最低賃金の改定に伴うパートやアルバイト時給の大幅な上昇に加え、店舗ごとの人員配置が水準よりも過大したことや新規出店に際して最適な人員管理体制が確立できず、人件費率が前回公表予想を上回って推移いたしました。

しかし、これらのコストについては一過性のものではなく構造的な変化と捉えており、この変化の中で「顧客体験価値」を損なわないための戦略的投資であり、ブランド力を守り抜くための必要な投資であった、と考えております。

以上の結果、営業利益及び経常利益につきましても、前回公表予想を下回る結果となりました。

当期純利益につきましては、上記要因の他に、本日公表いたしました「特別損失の計上及び繰延税金資産の減少に関するお知らせ」のとおり、投資有価証券評価損1百万円を特別損失に計上したこと、直営店舗の資産等に対して減損損失として23百万円を特別損失に計上したこと、また、繰延税金資産の回収可

能性について慎重に検討した結果、法人税等調整額（損）15百万円を計上したことにより、前回公表予想を下回る結果となりました。

上記いずれの特別損失につきましても、将来の懸念事項を厳格に処理することで、将来の収益性向上に向けた財務基盤の健全化やリスクの早期解消を実現するものと評価しております。

以上